

発生動向の概況

咽頭結膜熱（プール熱）は、例年に比べ発生頻度の高い状況で推移しており、7 月以降中予で多発しています。8 月に入り東予でも少し増加してきましたが、まだそれほど多くはありません。例年ではこれから 9 月にかけて流行のピークを迎えていますので、これから他の地区でも増加するか、今後の動向に注意が必要です。プールを介して流行する場合がありますので、手洗い・うがいに加えて、水泳後のシャワーの励行やタオルを共用しないなどの感染予防を心がけてください。

手足口病は徐々に増加しています。特に南予で多発し、増加傾向が見られます。東中予では散発的に見られる程度で、大きな変動はありません。例年では流行が終息する時期ですが、9 月から 10 月に流行した年もありますので、まだしばらくは注意が必要です。

流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）は東中予で小流行が続いています。中予ではやや減少傾向が見られますが、西条地区や今治地区ではまだ増加しています。その他の地区でも散発していますので、これからの動向にご注意ください。

感染性胃腸炎は緩やかに減少し、年間で最も患者数の少ない時期を迎えています。今年は例年よりも発生頻度がやや高い状況で推移しています。また、8 月に入り腸管出血性大腸菌感染症が県下各地で発生しています。これらの感染症は経口感染で、菌で汚染された飲食物を摂取することで感染する場合や、患者から排出された菌が手などに付着してヒトからヒトへ感染する場合があります。調理や食事の前、トイレやオムツ換えの後にはよく手を洗い、糞便からの経口感染を防ぐとともに、食材を十分に加熱するなど、一般的な食中毒予防を心がけましょう。

県内での感染症発生状況

全数把握感染症 三類感染症 : 腸管出血性大腸菌感染症 6 例 (O26 3 例、O157 3 例)
四類感染症 : マラリア 1 例 (三日熱マラリア、海外での感染)

定点把握感染症 (数字は最新週の定点当たり報告数、発生地区は保健所名を記載)

	愛媛県推移	県内の傾向
咽頭結膜熱	→ 0.9	中予で多発が続く。今治地区と四国中央地区でやや増加傾向。
感染性胃腸炎	→ 3.5	県下全域で減少しているが、依然患者数は多い。
手足口病	→ 1.7	南予で多発し、増加傾向。
ヘルパンギーナ	→ 0.8	流行のピークを過ぎ、県下全域で減少。
流行性耳下腺炎	→ 1.7	東中予で多発。中予では減少したが、東予では依然増加傾向。

解析評価委員のコメントから

感染性胃腸炎 : 細菌性胃腸炎が多く出ています。カンピロバクターが多いようです。(三類感染症も出ています) 便の性状にご注意ください。(東予)

減少しています。ウイルス性のものとしては、エンテロウイルスやアデノウイルスなどによる胃腸炎が多いようです。(中予)

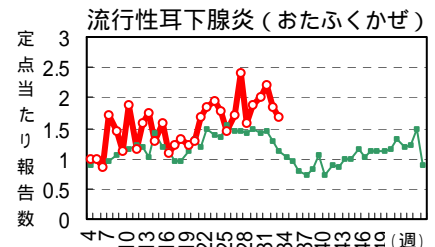
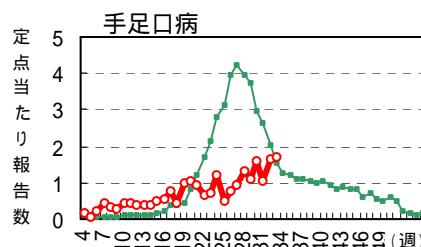
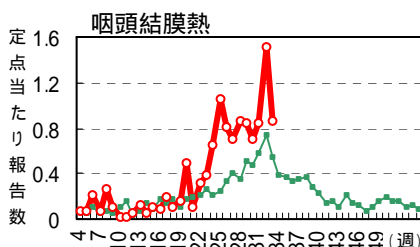
全体的に減少傾向にあります。病原体としては、カンピロバクターが多いようですが、病原性大腸菌が散発しています。(南予)

流行性耳下腺炎 : 相変わらず東中予地方で流行が続いています。髄膜炎も出ているようです。夏休み中も流行は止まっていないようです。(東予)

その他 : アデノウイルスによる咽頭炎が続いています。(東予)

アデノウイルス感染症は引き続き見られますが、咽頭結膜熱は散発的です。(中予)

過去 30 週の動向 (→ : 過去 30 週の動向、 → : 過去 10 年の平均)



(注) 本情報での患者数は届出医療機関所在の保健所での集計で、患者の住所を示すものではありません。
本感染症情報に関するご意見、ご質問は eikanken@pref.ehime.jp までお願い致します。

病原体検出情報

平成 17 年 8 月 24 日現在

ヘルパンギーナ患者数は減少中、手足口病患者数は横ばい状態で推移しておりますが、上・下気道炎および熱性疾患検体から、コクサッキーウイルス A6 型 (CA6) CB3、RS、アデノ 3 型など多彩なウイルスが検出されています。流行性耳下腺炎が流行期にあり、定点の検体からはムンプスウイルスが検出されています。また、髄膜炎併発例も見受けられています。

感染性胃腸炎患者数は、例年のこの時期より多い 4 人/定点当り弱で推移し、カンピロバクターとノロウイルスが検出されています。

愛媛県におけるブタの日本脳炎ウイルス抗体保有状況

採血月日	検査数	HI 抗体陽性数 ¹⁾	2ME 感受性抗体陽性数 ²⁾
7 月 5 日	20	2 (10%)	1 (50%)
7 月 12 日	20	3 (15%)	3 (100%)
7 月 26 日	20	1 (5%)	1 (100%)
8 月 9 日	20	0	
8 月 16 日	20	16 (80%)	8 (50%)

1)HI 抗体価は 1:10 以上を陽性とした。

2)1:40 以上の HI 抗体価を示した血清について調査した。

過去 5 週 検出病原体

(7 月 18 日以降採取検体)

週	期間	発生地区	臨床診断名	検出病原体	検体	例数	
29	7/18~7/24	松山市	今治	感染性胃腸炎	サボ	糞便	1
			不明熱	感染性胃腸炎	カンピロバクター	糞便	1
				上気道炎	アデノ 2	咽頭ぬぐい液	1
				アデノ 3	咽頭ぬぐい液	1	
				コクサッキー A 6	咽頭ぬぐい液	1	
				コクサッキー B 3	咽頭ぬぐい液	2	
				アデノ 3	咽頭ぬぐい液	1	
30	7/25~7/31	松山市	今治	流行性耳下腺炎	ムンプス	咽頭ぬぐい液	1
			無菌性髄膜炎	ムンプス	咽頭ぬぐい液	1	
			不明熱	感染性胃腸炎	サボ	糞便	1
				下気道炎	RS	咽頭ぬぐい液	1
				上気道炎	コクサッキー A 6	咽頭ぬぐい液	2
				コクサッキー B 3	咽頭ぬぐい液	1	
				コクサッキー B 3	咽頭ぬぐい液	1	
				ムンプス	咽頭ぬぐい液	1	
				コクサッキー A 9・アデノ 5	咽頭ぬぐい液	1	
				31	8/1~8/7	松山市	感染性胃腸炎
32	8/8~8/14	松山市	感染性胃腸炎	下気道炎	RS	咽頭ぬぐい液	1
				不明熱	アデノ 3	咽頭ぬぐい液	1
33	8/15~8/21	松山市	感染性胃腸炎	ノロ	糞便	2	
				カンピロバクター	糞便	1	
				ノロ	糞便	1	
				カンピロバクター	糞便	1	

月別病原体検出結果

臨床診断名別検出結果

(2005 年 6 月以降採取検体)

検出病原体	検体採取月						合計
	2005						
コクサッキー - A6	8	8	5	1	8		30
コクサッキー - A9					1		1
コクサッキー - A16		1	1	1			3
コクサッキー - B3					4		4
エコー 3	1						1
ポリオ 1		1		1			2
ポリオ 3			1		1		2
インフル A 香港	20	14	3	1			38
インフル B	19	5					24
RS	2			1	1	1	5
ムンプス	1	2	1	6	6		16
ロタ	15	5	6				26
アストロ		1					1
ノロ	7	5	7		2	3	24
サボ	10	5	9	7	2		33
アデノ		1		2	1		4
アデノ 1	1		2	2			5
アデノ 2		1	1	5	3		10
アデノ 3				3	3	1	4
アデノ 5	1	1	3	5	1		11
単純ヘルペス 1	1		2		1		4
ウイルス 計	86	50	41	32	34	5	248
細菌							
下痢原性大腸菌					1		1
サルモネラ O7	1						1
カンピロバクター	1	2	2	5	4	3	17
A 群溶レン菌	1		1	2	2		6
細菌 計	3	2	3	7	7	3	25

検出病原体	A 群溶レン菌咽頭炎	感染性胃腸炎	手足口病	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	無菌性髄膜炎	下気道炎	上気道炎	腸重積	不明熱	発疹・不明発疹症	合計
コクサッキー A6			1	1				3		4		9
コクサッキー A9										1		1
コクサッキー A16			1									1
コクサッキー B3								1		3		4
ポリオ 1										1		1
ポリオ 3											1	1
インフル A 香港							1					1
RS							3					3
ムンプス					9	1				2		12
ノロ		5										5
サボ		9										9
アデノ		3										3
アデノ 1							1	1				2
アデノ 2							1	2		5		8
アデノ 3								1		3		4
アデノ 5							1	1		4		6
単純ヘルペス 1										1		1
ウイルス 計		17	2	1	9	1	7	9	1	23	1	71
細菌												
下痢原性大腸菌		1										1
カンピロバクター		12										12
A 群溶レン菌	4											4
細菌 計	4	13										17

愛媛県 定点把握五類感染症 2005年 第 33 週 (2005.8.15 ~ 8.21)

	インフルエンザ	小児科定点											眼科定点		基幹定点					成人麻しん						
		RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎					
患者報告数																										
保健所別	四国中央			4	2	11		1	3			2	3	-	-										四国中央	
	西条			1	1	18		4	5	11		4	19		2										西条	
	今治			6	2	10		2	3	8		4	18		14				1						今治	
	松山市			13	7	57		3	6	15		13	15		6		-	-	-	-	-				松山市	
	松山			8	11	12		4	5	8			4		1				1						松山	
週推移	八幡浜					14		15	22		2			1											八幡浜	
	宇和島					7		21	1	2		4	3	1	1										宇和島	
	愛媛県			32	23	129		28	63	2	57		29	62	1	25			2						愛媛県	
	1週前			56	29	160		21	60	3	70		59	68	1	27			4						1週前	
	2週前			31	23	132		34	39	15	51		52	82		26			3						2週前	
3週前		1	26	16	146		32	58	1	48		69	74		21			2						3週前		
年齢別	-6ヶ月					2		1		3															0	
	-12ヶ月					9		3		5															1-4	
	1			6		16		10		21			8		2										5-9	
	2			5	2	14		6		17			6		11										10-14	
	3			4		15		5		14			3		14										15-19	
	4			6	4	11		1		3			3		11										20-24	
	5			8	4	11		1					4		8										25-29	
	6			2	6	8				1					5											30-34
	7				1	9		1							2											35-39
	8				2	10									1											40-44
	9			1	2	4				1					4											45-49
	10-14				1	14							1		3											50-54
	15-19																									55-59
	20-29 ⁵⁾				1	6				1							1									60-64
	30-39																									65-69
40-49																									70-	
50-59																										
60-69																										
70-79 ⁶⁾																										
80-																										

定点当たり報告数

四国中央			1.3	.7	3.7		.3	1.0			.7	1.0	-	-											四国中央
西条			.2	.2	3.0		.7	.8	1.8		.7	3.2		2.0											西条
今治			1.2	.4	2.0		.4	.6	1.6		.8	3.6		14.0				1.0							今治
松山市			1.2	.6	5.2		.3	.5	1.4		1.2	1.4		2.0		-	-	-	-	-					松山市
松山			2.0	2.8	3.0		1.0	1.3	2.0			1.0		1.0				1.0							松山
八幡浜							3.5	3.8	5.5		.5			1.0											八幡浜
宇和島							1.8		5.3		.3	.5		1.0											宇和島
愛媛県			.9	.6	3.5		.8	1.7	.1	1.5		.8	1.7	.1	3.1			.3							愛媛県

- 1) 高病原性鳥インフルエンザを除く。 2) 成人麻しんを除く。 3) 真菌性を含む。 4) オウム病を除く。
 5) 小児科定点疾患については20歳以上の全患者数を"20-29"に計上。 6) 眼科定点疾患については70歳以上の全患者数を"70-79"に計上。

(参考) 保健所別定点数

定点数	愛媛県	四国中央	西条	今治	松山市	松山	八幡浜	宇和島
インフルエンザ定点	61	5	10	8	17	7	7	7
小児科定点	37	3	6	5	11	4	4	4
眼科定点	8	-	1	1	3	1	1	1
基幹定点	6	1	1	1	-	1	1	1

注) 表中の報告数は8月24日集計分であり、その後の報告数は次週以降に反映されます。

愛媛県 定点把握五類感染症 2005年 第 32 週 (2005.8.8 ~ 8.14)

患者報告数	インフルエンザ	小児科定点											眼科定点		基幹定点					成人麻しん		
		RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
四国中央			4	1	8	2		2	5			8		-	-							四国中央
西条				5	32	4		2	10			2			5							西条
今治				5	11			6	9			18			8				3			今治
松山市			39	10	67	8	7	1	29			19		24	1	8	-	-	-	-	-	松山市
松山			12	6	16	2			6			6		3		4						松山
八幡浜			1	2	18	4	17		7			1		4		1						八幡浜
宇和島					8	1	28		4			5		8		1			1			宇和島
愛媛県			56	29	160	21	60	3	70			59		68	1	27			4			愛媛県
1週前			31	23	132	34	39	15	51			52		82		26			3			1週前
2週前	1		26	16	146	32	58	1	48			69		74		21			2			2週前
3週前	1		31	35	131	25	40	5	44			70		70		24			2	6		3週前
-6ヶ月					4				6													0
-12ヶ月			1		13	2	6		45			5										1-4
1			13		20	4	17		17			14		4	1							5-9
2			3	1	31	6	12	1	1			15		6		2						10-14
3			11	1	15	2	11	1				6		14								15-19
4			8	8	17	3	7		1			12		14								20-24
5			8	8	10		2					2		10		1						25-29
6			6	3	9	1	2					1		10		3						30-34
7			1	2	9							2		2								35-39
8				1	9							1		1								40-44
9			1	2	8	1	2							4								45-49
10-14			4	2	11	2						1		2		2						50-54
15-19																						55-59
20-29 ⁵⁾				1	4		1	1						1		2						60-64
30-39																6						65-69
40-49																3						70-
50-59																5						
60-69																						
70-79 ⁶⁾															1							
80-																						

定点当たり報告数

四国中央			1.3	.3	2.7	.7		.7	1.7			2.7		-	-							四国中央
西条				.8	5.3	.7	.3		1.7			.3		2.8		5.0						西条
今治				1.0	2.2		1.2		1.8			3.6		2.4		8.0			3.0			今治
松山市			3.5	.9	6.1	.7	.6	.1	2.6			1.7		2.2	.3	2.7	-	-	-	-	-	松山市
松山			3.0	1.5	4.0	.5			1.5			1.5		.8		4.0						松山
八幡浜			.3	.5	4.5	1.0	4.3		1.8			.3		1.0		1.0						八幡浜
宇和島					2.0	.3	7.0		1.0			1.3		2.0		1.0			1.0			宇和島
愛媛県			1.5	.8	4.3	.6	1.6	.1	1.9			1.6		1.8	.1	3.4			.7			愛媛県

- 1) 高病原性鳥インフルエンザを除く。 2) 成人麻しんを除く。 3) 真菌性を含む。 4) オウム病を除く。
 5) 小児科定点疾患については20歳以上の全患者数を"20-29"に計上。 6) 眼科定点疾患については70歳以上の全患者数を"70-79"に計上。

(参考) 保健所別定点数

定 点 数	愛媛県	四国中央	西 条	今 治	松山市	松 山	八幡浜	宇和島
インフルエンザ定点	61	5	10	8	17	7	7	7
小児科定点	37	3	6	5	11	4	4	4
眼科定点	8	-	1	1	3	1	1	1
基幹定点	6	1	1	1	-	1	1	1

注) 表中の報告数は8月17日集計分であり、その後の報告数は次週以降に反映されます。

愛媛県 結核発生状況速報 2005年 7月

新登録患者数

		活動性結核								マル初 ¹⁾ (別掲)	非定型菌陽 (別掲)
		肺結核活動性						肺外結核活動性	治療中		
		総数	総数	喀痰塗抹陽性		その他の結核菌陽性	菌陰性その他			治療中	治療中
				総数	初回治療			再治療			
保健所別	四国中央										
	西条	2	1					1	1		
	今治	4	4	4	4						
	松山市	10	7	3	3		2	2	3		3
	松山	4	4	2	2			2			2
別	八幡浜	6	5	4	4		1		1		1
	宇和島	4	4	2	2		2				2
愛媛県合計		30	25	15	15		5	5	5		8
年齢別	0-4										
	5-9										
	10-14										
	15-19										
	20-29										
	30-39	1	1	1	1					-	
	40-49									-	
	50-59	3	3	3	3					-	1
別	60-69	5	3	2	2		1		2	-	3
	70- 年齢不詳	21	18	9	9		4	5	3	-	4
月推移	今月	30	25	15	15		5	5	5		8
	先月	21	14	5	3	2	4	5	7		5
	先々月	15	9	5	5			4	6		7
愛媛県累計(2005年)		150	107	50	42	8	25	32	43	11	30

2004年新登録患者数(速報値)

愛媛県 総数	271	189	87	81	6	47	55	82	18	52
--------	-----	-----	----	----	---	----	----	----	----	----

新登録患者数年次推移

		2005年	2004年(速報値)		2003年		2002年		2001年	
		7月現在	患者数	り患率 ²⁾	患者数	り患率 ²⁾	患者数	り患率 ²⁾	患者数	り患率 ²⁾
保健所別	四国中央	9	13	13.9	16	17.1	21	22.3	27	28.7
	西条	15	35	14.7	46	19.2	54	22.6	56	23.3
	今治	15	31	16.8	25	13.4	29	15.5	33	17.5
	松山市	54	89	18.6	89	18.6	105	22.0	95	20.0
	松山	13	37	21.0	43	24.3	46	25.9	37	20.8
別	八幡浜	27	42	25.0	38	22.4	49	28.6	36	20.8
	宇和島	17	24	17.6	26	18.8	37	26.5	45	31.8
愛媛県		150	271	18.4	283	19.1	341	23.0	329	22.1

- 1) 結核の感染が強く疑われ、発病予防のための治療(予防内服)を受けているもの
 2) 人口10万人あたり

注) 表中の報告数は8月16日集計分であり、その後の報告は翌月以降に反映されます。

全国 定点把握感染症 第30、31週 (2005.7.25 ~ 8.7)

(定点当たり報告数)

	インフルエンザ ¹⁾	小児科定点											眼科定点		基幹定点							
		RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん ²⁾	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 ³⁾	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 ⁴⁾	成人麻しん	
30週	愛媛県	.0	.7	.4	3.9	.9	1.6	.0	1.3			1.8	.0	2.0		2.6		.3				
	近畿県																					
	香川県		.4	.3	1.8	.7	.8	.1	1.0			1.4		2.4	.3	.7						
	徳島県		.1	.0	.7	.5	.5		.2			1.7		.4				.1				
	高知県		.7	.6	1.6	.7	.2	.1	.8			.7		.5		.7		.1	.1			
	全国	.1	.0	.5	.7	2.5	1.0	1.6	.3	.8	.0	.0	3.5	.0	1.6	.0	1.2	.0	.1	.2	.0	.0
	北海道	.0	.0	.6	1.1	1.3	1.3	.9	.2	.5			2.5		1.5		.8			.1		
	東北	.0	.0	.5	.7	2.3	1.1	2.0	.6	.7	.0	.0	4.1		1.3	.0	.9		.0	.5	.0	
	関東	.0	.0	.5	.8	2.3	1.0	1.6	.4	.7	.0	.0	3.5	.0	1.8	.0	1.5		.0	.1		
	甲信越北陸	.0		.6	.8	2.5	1.1	1.8	.2	.6	.0	.0	6.4	.0	2.0		1.0	.0	.1	.3		
東海	.0	.0	.7	.6	2.2	1.0	.7	.2	.8	.0	.0	4.0		1.7	.0	1.4			.3		.0	
近畿	.0	.0	.5	.5	2.5	.8	1.2	.2	.7	.0	.0	3.2	.0	1.2		.6		.1	.2			
中国四国	.0	.4	.6	2.8	.7	4.5	.1	.9	.0			1.7	.0	1.6	.0	1.2		.1	.3	.0		
九州沖縄	.8	.0	.6	.7	3.3	.8	.5	.4	1.0	.0	.0	3.0	.0	2.0	.0	1.9	.0	.1	.1			

(2005.8.4集計)

31週	愛媛県		.8	.6	3.6	.9	1.1	.4	1.4			1.4		2.2		3.3			.5			
	近畿県																					
	香川県		.2	.3	2.3	.6	.6	.2	.8	.1		1.1		1.8	.7	.7						
	徳島県		.9	.6	1.8	.9	2.2	.1	.7			2.4		2.0		.8						
	高知県		.9	.8	2.4	.5	.2	.1	.5	.0		1.2		.5		1.0	.1		.3			
	全国	.1	.0	.5	.6	2.4	.9	1.4	.3	.8	.0	.0	2.6	.0	1.4	.0	1.2	.0	.1	.2	.0	
	北海道	.0	.6	.9	1.1	1.2	.9	.1	.7			1.9		1.0		.8			.0			
	東北	.0	.5	.5	2.1	1.1	1.8	.5	.8	.0	.0	3.3		1.2	.0	.8		.0	.5			
	関東	.0	.4	.6	2.2	.9	1.5	.3	.8	.0		2.3	.0	1.5	.0	1.6	.0	.0	.1			
	甲信越北陸	.0	.6	.6	2.5	.9	1.7	.2	.6	.0		5.5		1.8	.0	1.0			.2	.0		
東海	.0	.8	.5	2.3	.9	.5	.2	.8	.0	.0	2.6	.0	1.5	.1	1.1	.0	.1	.3				
近畿	.0	.4	.5	2.2	.7	1.1	.2	.6	.0	.0	2.3	.0	1.1	.0	.6	.0	.1	.2				
中国四国	.0	.6	.5	2.8	.7	3.8	.2	.8	.0	.0	1.6		1.4	.0	1.1	.0	.1	.2				
九州沖縄	.5	.0	.7	.6	3.1	.7	.5	.4	1.1	.0	.0	2.5	.0	1.8	.1	1.8	.1	.1	.0	.0		

(2005.8.11集計)

1) 高病原性鳥インフルエンザを除く。 2) 成人麻しんを除く。 3) 真菌性を含む。 4) オウム病は除く。

全国 全数把握感染症 第30、31週 (2005.7.25 ~ 8.7)

疾病名	類 型	二類感染症				三類	四類感染症														五類感染症																			
		(2) コレラ	(3) 細菌性赤痢	(5) 腸チフス	(6) パラチフス		(1) 腸管出血性大腸菌感染症	(1) E型肝炎	(3) A型肝炎	(4) エキノコックス症	(6) オウム病	(8) Q熱	(11) コクシジオイデス症	(15) つつが虫病	(16) デング熱	(18) 日本紅斑熱	(19) 日本脳炎	(23) 発しんチフス	(24) ボツリヌス症	(25) マラリア	(26) 野兔病	(27) ライム病	(29) レジオネラ症	(30) レプトスピラ症	(1) アメーバ赤痢	(2) ウイルス性肝炎 (E型及びA型肝炎を除く)	(3) 急性脳炎	(4) クリプトスポリジウム症	(5) クロイツフェルト・ヤコブ病	(6) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症	(7) 後天性免疫不全症候群	(8) ジアルジア症	(9) 髄膜炎菌性髄膜炎	(10) 先天性風しん症候群	(11) 梅毒	(12) 破傷風	(13) 黄色ブドウ球菌感染症	(14) パンコマイシン耐性腸球菌感染症		
第30・31週報告数	全 国	4	21	1	1	305		1	1	1			2	1	6				5		2	17			8	5	1		4	1	16	2				9	4		1	
第30・31週報告数	四 国	愛 媛 県				2												1																						
		香 川 県				1																																		
		徳 島 県																																						
		高 知 県														4																								
	ブ ロ ッ ク 別	北 海 道		1	1		18																							1										
		東 北 道		1			31						1										4					1										2		
		関 東 圏	4	8		1	79			1	1							1		2	4					3	2							8			4			1
		甲信越北陸					16																			1				1				4	1				1	
		東 海 道		5			31							1					3							1				1								2		
2005年累積数	全 国	31週	2	7	1		137		1	1	1			1	1	4				3		2	8			3				3		6	1			3	1			
		30週	2	14		1	168							1		2				2			9			5	5	1		1	1	10	1			6	3		1	
		29週	1	7	4		119	1	2					1		1						1	8			6	2	1				4				6			2	
28週			17	1		169						1		2		1				1			7			6	1			1	1	11				5	2		1	
2005年累積数	四 国	全 国	31	333	29	8	1671	31	129	12	25	8	1	101	19	25			2	43		3	124	4	404	176	127	5	82	35	681	41	8		305	56		43		
		愛 媛 県	1				8									1				2						2	2					3				2	4			
		香 川 県		1			11					1														2			1			3				13				
		徳 島 県					6		2					1		2								1								1				5	1			
	ブ ロ ッ ク 別	高 知 県		1			2		1			1				7										1	1						2				3			
		北 海 道		6	3		106	5	13	11	1	1			1									3		8	8	2	3	5		12	1			4	2			
		東 北 道	1	11		1	146	1	4		2			50					1				23		20	9	26		9	5	19	1			17	8		1		
		関 東 圏	13	113	11	5	346	9	30	1	4	5		8	10			1	23		3	22	1	177	47	25	2	29	7	354	21	4		78	9		13			
		甲信越北陸		13	1		118	1	3					16	1				1				15		10	10	9		5	5	28	1			7	7		2		
東 海 道	4	64	4	1	169	5	8		4		1	2	2			1	10				20	1	43	12	10		9	3	77	2	1		48	2		8				
近 畿 圏	7	80	6	1	211	1	35		8			2	5				5				18	1	91	42	24		10	8	115	5	3		62	5		7				
中国四国	3	18	2		192	4	24		2	2		8	16				3				10		33	16	8		6	4	32	1			33	11		2				
九州沖縄	3	28	2		383	5	12		4			15	9									13	1	22	32	23		9	3	44	9			56	12		10			

・医療機関での診断日をもとに集計。集計日以降の報告数は、次週以降の累積に反映されます。

(2005.8.11集計)